



令和8年3月18日

市政記者 様

長崎市内で初めて「Jブルークレジット」®認証を取得しました ～産官学連携したクレジット創出～

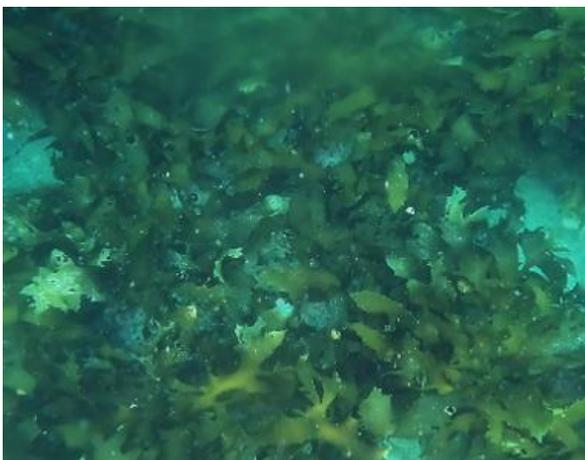
長崎市が参画する長崎市たちばな漁協ブルーカーボン推進協議会（以下、本協議会）は、「長崎市牧島における持続可能な水産資源の確保に向けた藻場再生プロジェクト（以下、本プロジェクト）」の取組の成果として、2026年2月6日に「Jブルークレジット」®認証を取得し、3月19日に東京都で「Jブルークレジット」®発行証書交付式」が開催されますのでお知らせします。

1. 本協議会について

本協議会は、長崎市たちばな漁業協同組合を主体として、長崎県、長崎市、国立大学法人長崎大学、八千代エンジニアリング株式会社（東京都）、住友大阪セメント株式会社（東京都）、株式会社SNC（福岡県）が産官学連携し、令和7年9月に発足した協議会です。

2. 本プロジェクトの背景

戸石トラフグの養殖生産地として有名な長崎市牧島周辺は、長崎県内ではほぼ見られなくなったクロメという海藻が繁茂する数少ない海域であり、長年に渡り磯焼けの原因となる食害生物の除去活動や藻場増殖礁設置等の対策が実施されています。



藻場増殖礁周辺に繁茂するクロメ



ウニ類（ガンガゼ）の除去活動

本協議会では、牧島周辺の海域において、磯焼け対策の促進による貴重な四季藻場の維持・再生や、持続的な水産資源の確保を通じた地域漁業の振興、さらには藻場による二酸化炭素吸収量の増加・維持を目指す本プロジェクトを開始しました。

3. 本プロジェクトの概要

本プロジェクトは、長崎市たちばな漁業協同組合が実施主体となり、長崎県及び長崎市と連携して藻場の保全活動を行います。住友大阪セメント株式会社及び株式会社 SNC は、新規技術を導入した藻場増殖礁の効果検証やモニタリングの実施、藻場の維持・創出のための漁業者と連携した海洋データ利活用の検討を行います。国立大学法人長崎大学は、水中ドローンによる藻場観察や藻場礁のメンテナンス、八千代エンジニアリング株式会社は藻場の分布状況調査やブルーカーボン量の算定を行います。

<p>✓ 新規技術開発・実海域での実践 (住友大阪セメント(株), (株)SNC)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規技術導入による藻場造成支援 ・実海域での技術検討 	<p>✓ 藻場保全活動 (長崎市たちばな漁協, 長崎県, 長崎市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藻場モニタリング ・ウニ類、小型巻貝類の除去 	<p>✓ 藻場繁茂状況等のデータ集積 (長崎大学, 八千代エンジニアリング(株))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水中ドローンによる藻場観察, 藻場礁メンテナンス ・ブルーカーボン量算定 
---	---	---

今回、食害生物の除去や藻場増殖礁の設置による効果について、空中・水中ドローンを用いた調査により藻場の分布や密度変化を定量的に評価し、国土交通省認可の技術研究組合であるジャパンプルーエコノミー技術研究組合より合計 10.5t-CO2 の J ブルークレジット® を認証いただきました。

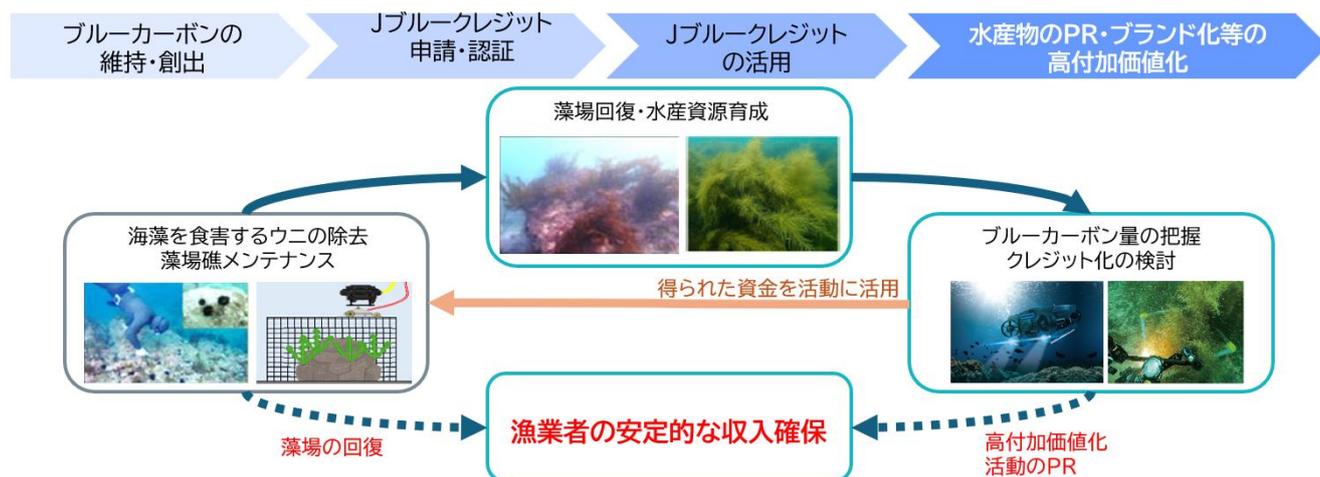
長崎市内での J ブルークレジット® 認証は初の事例となります。

< J ブルークレジット® 認証内容 >

プロジェクト名称	長崎市牧島における持続可能な水産資源の確保に向けた藻場再生プロジェクト
申請者/実施者	長崎市たちばな漁協ブルーカーボン推進協議会
クレジット認証対象期間	2024年8月1日から2025年7月31日まで
認証対象吸収量	10.5[t-CO2]
認証クレジット量	10.5[t-CO2]
クレジット属性	自然系（吸収源対策）クレジット

今後は、本プロジェクトで取得したクレジットを活用して、産官学連携のもと藻場の維持・再生に係る取組みを強化し、長崎市が掲げるゼロカーボンシティの実現に向けて、この取組みを他地区へも波及できるよう推進してまいります。

また、除去したウニの活用や CO₂削減も考慮した藻場づくりを通じて、水産物の PR・ブランド化等の高付加価値化を図り、環境対策と経済的価値を創出し、持続的な水産業の確立に寄与することを目指します。



4. クレジットの公募について

本プロジェクトで認証された J ブルークレジット[®]については、次のとおり公募が予定されておりますので、特に長崎市内の企業様におかれましては、是非とも購入のご検討をお願いいたします。

公募方式	指定単価方式
0.1 [t-CO ₂]あたり単価	5,500 円（税込）
最低購入申込数量	1.0[t-CO ₂]
購入申込意向表明期間	令和 8 年 3 月 26 日～令和 9 年 1 月 22 日
購入申込期間	令和 8 年 4 月 13 日～令和 9 年 1 月 29 日

公募情報や購入申込みについては、ジャパンプルーエコノミー技術研究組合のホームページ（<https://www.blueeconomy.jp>）をご確認ください。



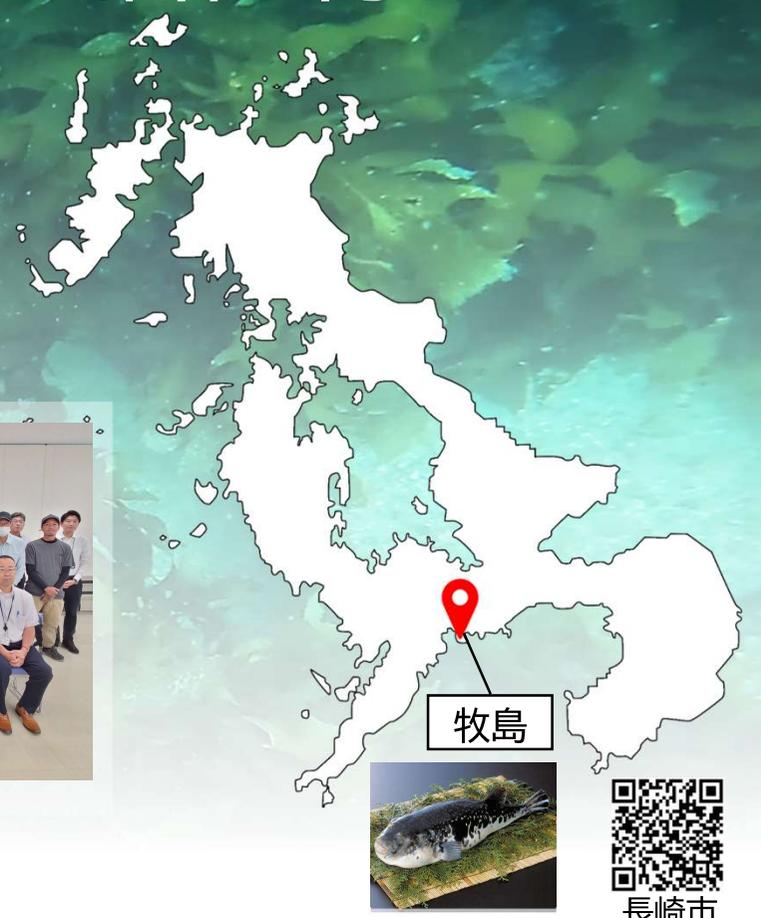
長崎市牧島における持続可能な水産資源の確保に向けた藻場再生プロジェクト

長崎市たちばな漁協ブルーカーボン推進協議会

長崎市たちばな漁業協同組合, 長崎県, 長崎市, 長崎大学,
住友大阪セメント(株), (株)SNC, 八千代エンジニアリング(株)

「戸石とらふぐ」で有名な長崎市牧島周辺は、長崎県内でほぼ見られなくなったクロメが繁茂する数少ない海域であり、食害生物の除去や藻場礁設置等の磯焼け対策を実施しています。

この度、漁業協同組合を活動主体とする、産官学が連携した協議会を設置し、希少な藻場の維持・再生に取り組むプロジェクトを開始しました。取得したクレジットは、継続的な藻場回復・保全活動の活動資金とし、持続的な水産業の確立を目指します。



戸石とらふぐ たちばな漁協

プロジェクトの特徴・PRポイント 産官学の連携

 **新規技術開発・実海域での実践**
(住友大阪セメント(株), (株)SNC)

- ・新規技術導入による藻場造成支援
- ・実海域での技術検討



 **藻場保全活動**
(長崎市たちばな漁協, 長崎県, 長崎市)

- ・藻場モニタリング
- ・ウニ類、小型巻貝類の除去



 **藻場繁茂状況等のデータ集積**
(長崎大学, 八千代エンジニアリング(株))

- ・水中ドローンによる藻場観察, 藻場礁メンテナンス
- ・ブルーカーボン量算定

